

「鳥のフン」

人は毎日トイレに行き、おしっこやウンチをします。同じように動物もフンをします。道を歩いているとき、ときどき空から鳥のフンが落ちてきます。人はトイレという決まった場所でおしっこやウンチをするのに、どうして鳥は空でフンをするのでしょうか。動物にはトイレがないのでしょうか。

実は、動物の中にもいつも同じ場所でフンをする動物がいます。例えば、モグラです。モグラは地面の中に住んでいて、いつも同じ部屋でフンをします。猫もそれに近いです。猫は「ここからここまでは私の場所ですよ」ということを他の猫に教えるために、フンをします。この自分の場所を「縄張り」と言います。縄張りの一番遠いところにフンをしておくので、一つの場所ではありません。しかし、だいたいいつも同じ場所にフンをします。

さて、他の動物はどうでしょうか。他の動物は、したいときにフンをします。場所も時間も決まっていません。鳥は、木にとまっているときにフンがしたくなったら、そこでします。空を飛んでいるときにフンをしたくなったら、飛びながらします。だから空からフンが落ちてくるのです。

(464字)

(2020.4 Written by Toru YOSHIKAWA)

<参考文献>

- ・朝日新聞2017年10月26日付土曜版 p.5 「ののちゃんの Do科学」
- ・五味太郎 (1981) 『みんなうんち』 福音館書店



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典:「たどくのひろば」(<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When

you use this work, please indicate the source as in the example above.